

武庫川女子大学看護学ジャーナル 投稿規定

本ジャーナルについて

1. 名称を「武庫川女子大学看護学ジャーナル」とする。
2. 本ジャーナルは武庫川女子大学看護学部教員および共同研究者が研究成果を発表し、看護学の発展に寄与することを目的とする。
3. 本ジャーナルは年 1 回発行する。
4. 本ジャーナルの編集は武庫川女子大学看護学ジャーナル編集委員会（以下、編集委員会）が行う。

投稿者の資格

著者は以下の 2 点をいずれも満たしている者とする。

1. 著者には武庫川女子大学看護学部教員が含まれることとする。ただし、編集委員会よりの依頼についてはこの限りではない。
2. 著者とは投稿された論文に重要な知的貢献をした者とする。

論文の種類および内容

論文の種類は以下の通りである。

- 【総説】看護学に関わる特定のテーマについて国内外の知見・文献を多面的に収集・分析し、当該テーマについて総合的に概説および考察したもの。
- 【原著】独創性に富み、看護学の知識の発展に貢献する新たな知見が論理的に述べられているもの。
- 【報告】看護学に関連した研究論文で、独創性など内容において原著論文に及ばないが、今後の研究や実践への意義があるもの。
- 【資料】看護実践や教育に何らかの示唆をもたらす、資料的価値が高いもの。例としては、事例研究、実践報告がある。

ただし、投稿論文の内容は、他の出版物にすでに発表されていないものに限る。重複投稿は禁止する。

その他の掲載

看護学に関連する内容で、編集委員会が適当と認めたものについて、記事として掲載することがある。

倫理的配慮

1. 人および動物が対象である研究は倫理委員会の承認を受けていること。
2. 研究の実施にあたっては、倫理的に配慮した内容を本文中に明記すること。
3. 当該研究の遂行や論文作成における利益相反の有無について投稿時に明記すること。

原稿執筆の要領

原稿執筆の様式は別に定める「原稿執筆要項」に従うこととする。

投稿手続

1. 投稿論文は以下の内容からなる：
 - 表紙
 - 謝辞、助成、利益相反に関する情報
 - 和文抄録・キーワード

- 英文抄録・キーワード（原著希望のみ）
 - 本文
 - 引用文献
 - 図・表
2. それぞれの内容については「原稿執筆要項」（別紙）を参照すること。
 3. 投稿原稿は、フォルダ（フォルダ名は投稿者の氏名）に①本論文のフォルダ、②副論文のフォルダ、③英文校正証明書、④著作権譲渡同意書、⑤投稿チェックリストを入れ、ZIP ファイルに変換し、メールに添付して提出する。副論文は、本論文から氏名・所属や承認を受けた倫理委員会名などの投稿者が特定される可能性のある内容をすべて削除したものとする。
 4. 原稿提出先： 武庫川女子大学看護学ジャーナル編集委員会へ電子メールで提出する
nursjour@mukogawa-u.ac.jp
 5. 投稿規定に則らない論文は受理しない。また、原稿執筆要項の記載事項から逸脱したものは返却し、再提出を求める。

原稿の締切および採否

1. 原稿の締切は原則 6月初旬に電子メールで提出する。当該年度の締め切り日は、原稿募集時の書面にて正式に通知する。
2. 原稿の採択および論文の種類は査読を経て、編集委員会で決定する。
3. 査読者（原則、学外査読者含め計3名で構成）の意見をもとに、修正を求められた原稿の著者は内容を修正し、編集委員会によって定められた期日までに再投稿する。再投稿を辞退する場合は、その旨を編集委員会に文書にて通知する。

著者校正

著者校正を1回行う。校正の際の加筆・修正は原則として認めない。

著者が負担すべき費用

- 1 英文校正にかかる費用は著者負担とする。

著作権

1. 著作権は武庫川女子大学看護学部に帰属する。投稿時に、著作権譲渡同意書に著者全員が自筆署名し、論文とともに提出すること。
2. 本ジャーナルに掲載された論文は、武庫川女子大学リポジトリに掲載し、インターネットを通して公開するものとする。

附則

この規定は 2015 年 5 月 20 日より発効する。
この規定の改正は 2016 年 2 月 5 日より施行する。
この規定の改正は 2016 年 6 月 8 日より施行する。
この規定の改正は 2018 年 6 月 13 日より施行する。
この規定の改正は 2019 年 4 月 10 日より施行する。
この規定の改正は 2020 年 4 月 1 日より施行する。
この規定の改正は 2021 年 4 月 1 日より施行する。
この規定の改正は 2022 年 4 月 1 日より施行する。

武庫川女子大学看護学ジャーナル 原稿執筆要項

武庫川女子大学看護学ジャーナル編集委員会

1. 投稿用書類

- 1) 和文での投稿には和文用フォーマットファイル及び投稿論文チェックリスト、英文での投稿には英文用フォーマットファイル及び投稿論文チェックリストを使用すること。
- 2) 上記ファイルは、武庫川女子大学看護学部 MWU.jp のチームドライブ「看護学ジャーナル投稿用書類」よりダウンロードを行い、使用すること。MWU.jp に直接アクセスできない投稿者は共同著者の武庫川女子大学看護学部教員（以下、学内連絡担当者）にダウンロードを依頼し、使用すること。

2. 原稿の構成と内容

1) 和文投稿の場合の構成と内容

- 1 枚目：表紙（日本語）
原稿の種類、表題、著者名、所属機関、代表著者および学内連絡担当者の連絡先を記入する。
- 2 枚目：表紙（英語）
表題、著者名、所属機関を英語・ローマ字で記入する。
- 3 枚目：謝辞、助成、利益相反に関する情報
- 4 枚目：和文抄録（非構造化抄録）
和文抄録（400 字以内）、日本語キーワード（3～5 つ）
- 5 枚目：英文抄録（原著希望のみ：非構造化抄録）
英文抄録（300 語以内）、英語キーワード（3～5 つ）
- 6 枚目以降：本文（本文の執筆要領は以下に定める）

2) 英文投稿の場合の構成と内容

- 1 枚目：表紙（英語）
表題、原稿の種類、著者名、所属機関、代表著者および学内連絡担当者の連絡先を英語・ローマ字で記入する。
また、スペースを含み 50 字 (characters) 以内の running head も記入する。
- 2 枚目：謝辞、助成、利益相反に関する情報
- 3 枚目：和文抄録（非構造化抄録）
和文抄録（400 字以内）、日本語キーワード（3～5 つ）
- 4 枚目：英文抄録（非構造化抄録）
英文抄録（300 語以内）、英語キーワード（3～5 つ）
- 5 枚目以降：本文（本文の執筆要領は以下に定める）

3. 英文校正証明

和文、英文での投稿にかかわらず、英語表題および英文抄録（英文での投稿の場合は、本文も含む）は専門家またはネイティブスピーカーの校正を受けておくこと。原稿提出時、その証明書を添付すること。

4. 本文の執筆要領

- 1) 本文は日本語（和文）または英語（英文）で作成する。
- 2) A4 縦の用紙に、横書きで作成する。

- 3) 和文は、1 頁 40 字 × 30 行 (1,200 字)、フォントは MS 明朝を使用し、文字サイズは 10.5 ポイントで作成する。英文は、ダブルスペース、フォントは Times New Roman/Times を使用し、文字サイズは 12 ポイントで作成する。
- 4) 原稿は内容を問わず、文献・図表を含めて和文は 16,000 字以内、英文は 8,000 words 以内とする。
- 5) 図表は、A5 サイズを和文 600 字、英文 300 words に換算する。
- 6) 和文の句読点は全角の「、」と「。」を用いる。英文の句読点は半角の「,」「.」を用いる。
- 7) 本文中の文献の記載および文献リストでは、和文でも半角の「,」「.」「()」を用いる。
- 8) 用紙の下部中央にページ数を入れ、行番号 (連続番号) を挿入する。(Word での設定: 「ページレイアウト」→「ページ設定」→「その他」→「行番号」→「行番号を追加する」「連続番号」にチェックを入れる)
- 9) 論文の見出しに使用する番号は I → 1 → 1) → (1) の順に使用する。
- 10) 研究目的、研究方法、研究結果、考察、結論は、和文では「はじめに」、「目的」、「方法」、「結果」、「考察」、「結語 (または結論)」と文言を統一する。英文では、「Introduction」、「Objective(s)」、「Methods」、「Results」、「Discussion」、「Conclusion」を使用する。
- 11) 数字は全て半角入力とする。
- 12) 新かなづかいを用い、できるだけ簡潔に記述すること。誤字や脱字がないか否か、よく確認してから提出すること。
- 13) 論文は、適切な位置で改行を入れ、不必要な空白を挿入しない。
- 14) 倫理的配慮を明記する際、倫理委員会の承認番号も記載すること。
- 15) 引用文献の記載方法は以下に示す。
 - (1) 引用文献は、掲載論文に関係ある主要論文にとどめる。
 - (2) 文献の表記は基本的に American Psychological Association (APA) が発行している「Publication Manual of the American Psychological Association (6th ed)」(2010)、その翻訳書「APA 論文作成マニュアル (第 2 版)」(APA, 2010/2011) に準拠する。和文は「APA に学ぶ看護系論文執筆のルール」(前田, 江藤, 2013) を参照すること。
 - (3) 本文中の引用文献の表記例は表 1 に示す。
 - (4) 文献欄の記載例は表 2 に示す。文献は著者名のアルファベット順に列記する。
 - (5) 文献ごとに「ぶら下げインデント」で記載する。文献の 2 行目以降は全角 1 文字下げる。
 - (6) 著者名をフルネームで表記するときは、姓と名の間に空白は入れない。
 - (7) 英文の文献を引用文献で表記する場合は、雑誌名と巻号は斜体で記載する。
 - (8) 引用文献中の数字はすべて半角を使用する。
 - (9) 文献を引用した場合、文献欄に引用ページを必ず記載する。
- 16) 図・表の記載方法は以下に示す。
 - (1) 図表はすべて本文とは別紙とし、1 点ごとに 1 枚とする。
 - (2) 図 1、表 1 等の通し番号をつける。
 - (3) 本文中への挿入希望箇所を、原稿の右欄外にテキストボックス等により指定する。
 - (4) 図表を引用する場合は著者・出版社等に転載許諾を取り、出典を明記する。
 - (5) 図表の原図は、そのまま製版が可能なものとする。また、掲載は白黒印刷で行うため、図表はカラーで作成しないこと。

5. 投稿用チェックリストの提出

上記執筆要項どおりに作成しているか投稿論文チェックリストを用いて確認し、原稿に添付して提出すること

<文献>

American Psychological Association. (2010). *Publication manual of the American Psychological Association* (6th ed). Washington, DC: American Psychological Association.

アメリカ心理学会. (2010/2011). 前田樹海, 江藤裕之, 田中建彦 (訳), APA 論文作成マニュアル (第 2 版).

医学書院.

前田樹海, 江藤裕之. (2013). APA に学ぶ看護系論文執筆のルール. 医学書院.

【作成日：2015年6月10日】

【改正日：2016年2月5日】

【改正日：2016年5月25日】

【改正日：2017年7月4日】

【改正日：2019年5月15日】

【改正日：2021年4月1日】